

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.358

2023.6.30

発行：校長 小林 聡

学校教育目標：ふるさとだいすき かしく つよく やさしく
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

心に火をつけ 全力で挑み 全員で楽しんだ 運動会



時折強い風が吹く中ではありましたが、天候にも恵まれた6月3日(土)、全校生68名が参加して運動会を実施することができ、たいへんうれしく思います。

「心に火をつけろ 全力で挑み 全員で楽しもう」をスローガンに、子ども達が創る運動会を目指して準備や係活動を行ってきました。予想以上に強風が

吹く中、知恵を出し、力を合わせた「大玉リレー」、合図が鳴るまで粘り強く力を出し続けた「まり入れ」「綱引き」、息を切らして上級生が一生懸命下級生を運んだ「協力島」、そして、両組ともに元気、迫力、まとまりの素晴らしかった「応援合戦」、…最後の最後まで一人一人が持てる力を精一杯出し切って、スローガンを

実現した感動的な運動会になりました。PTA 役員の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様からたくさんのご支援とご協力をいただきました。ありがとうございました。



「友だちとなかよくするために 大切なこと」

せっかく作った「ぶらんこ」がこわれてしまいました。いっしょに遊んだり、協力したりしながら仲良くくらしている子どもたちも、時にはけんかをしてしまうことだってあります。

そんなお話を基にして、友達と仲良くするための行動や言葉かけ、思いやりについて、12人が一生懸命に考えました。安心して話せる温かい雰囲気、経験を基にペアで話し合う姿、自分の考えを整理しながら黙々と鉛筆を走らせる姿、登場人物になってみんなの前で話す姿・様々なところに学級の成長が表れていました。その陰には、教材の選択、教材との出会い、学習の進め方等、常に「この子たちに一番じっくりくるのはどれだろう。」と“子どもを第一に考える”担任の思いと願いがありました。

“心を育てる”ことがそう簡単ではないこと、とても時間がかかることは言うまでもありません。「大切なこと」を頭ではわかっている、できないこともしばしばあります。そんな心を愛おしく、根気強く、明るい気持ちで育てていきたいと改めて考えた研究会でした。



本校ホームページへ
こちらからどうぞ

